

2021年度 実践ベンチャー論I、II 報告書抜粋

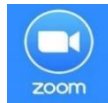
2021年 10月 18日
客員教授 館 逸志
非常勤講師 関口暁子

2021年第2ターム 実践ベンチャー論 I スケジュール

日程	単元	内容(担当・ゲストスピーカー)	詳細・テーマ
6月18日 	4限	ガイダンス(館・関口)	グループ発表・アクティブラーニングについて・ 集団的知性の効果・自己紹介
	5限	経営者講演① biid(松尾省三社長)	マリーナ再生事業の実態とブルーアイランド戦略
6月25日 	4限	経営者講演② アイネット(池田典義会長*)	会社経営で学んだこと・心がけたこと
	5限	グループワーク①(館・関口)	たまごワーク(biid・アイネット)
7月02日 	4限	経営者講演③ アルファ(川名祥之相談役*)	海外事業の開拓と求められる人財
	5限	グループワーク②(館・関口)	たまごワーク(アルファ)・報告会準備
7月09日 	4限	経営者講演④ 石坂産業(石坂典子社長)	自然と調和し、地域に根差した企業の在り方
	5限	グループワーク③(館・関口)	たまごワーク(石坂産業)・報告会準備
7月16日 	4限	経営者講演⑤ アルテHD(吉原直樹会長*)	夢の実現をビジネスに
	5限	経営者講演⑥ Sakura United(井上一生代表)	ベンチャー魂。やらまいか！
7月23日 	4限	経営者講演⑦ 丸和運輸(オンデマンド)	株式総会視聴
	5限	グループワーク④(館・関口)	たまごワーク(アルテ・Sakura・丸和)・発表準備
7月30日 	4限	経営者講演⑧ 湘南モノレール(尾渡社長*)	交通インフラとみなさんの未来
	5限	グループワーク⑤(尾渡社長・館・関口)	たまごワーク・ディスカッション
8月06日 	4限	成果報告会(館・関口)	プレゼンテーション(学生)・講評(教員)

*は埼玉大学OB

2021年6月25日(金)(4限 15:00~16:20)



フィールドワーク



創業者 池田典義氏
(埼玉大学OB)

<テーマ> 会社経営で学んだこと・心がけたこと

埼玉大学経済学部出身の池田典義氏が創業した株式会社アイネット（東証一部上場）は創業50年を迎えました。

金なし、コネなしの営業一筋の同氏が、会社員を経て、身一つで創業し、大企業に育成するまでの軌跡を追いながら、池田氏の学生時代から会社員時代、そして経営者として学び、心がけてきたこととともに、現在もトップランナーとして業界を牽引する同社の成長と発展の秘訣を、余すところなく語っていただきます。



本社所在地：横浜みなとみらい



アイネット第2データセンター（横浜市）

質疑応答 16:05~16:20



経営者の方々に直接お話をして頂いたのは初めての経験だったのでとても楽しい講義だった。起業に限らずビジネスマンとして活躍するためのマインドや社会に求められることは何なのか、普段の講義では学べない内容が多くとても貴重な経験だと振り返って感じた。最後の湘南モノレールの際には社長とのディスカッションの時間も取っていただきとても楽しかったので、このような時間が増えるといいなと思う。

社会で活躍する企業のトップの方々とのこの大学2年生という期間で出会えたのは間違いなく貴重な体験となった。今回の講義を通じて感じたのは、こうしたいという未来の社会がきちんと描けており、その目標に向かって努力を積み重ねられたから成功できたということだ。わたしには大雑把な将来のビジョンはあるが、まだまだ固められていないと感じた。その中で、私が予定している留学は勿論、普段の大学生活も自分のビジョンを固まる上で大切な機会であると改めて感じ、貴重な時間を活かせるように意識を持って送りたいと考えた。

今後グループワークやパワポを使った授業が増えていくと思うから活用する。

貴重な体験ができたと思うので今後の授業で別の観点で捉えたりしていこうと思う。

グループワークの時間にディスカッションを行えたらより楽しそうだと感じました。また発表に関しては、コストや収益を考えて何をするか絞るべきというアドバイスをいただき、自分の事業の際には気をつけたいと思いました。

座学で経営学を勉強する機会はあったが、経営者から経営を聴くのは初めてで、とても貴重な経験であった。座学では分からない人としての魅力や、経営戦略の手法、人生観まで幅広く学ぶことができた。

特に印象に残ったのは、アルテ吉原会長の「人生で無駄な学びはない」という言葉だ。多くの講演を聴いて、経営者のバックグラウンドが多様であることを知った。biidの松尾社長は不動産の営業マンから経営者になっていたり、吉原会長は教師を目指してその後営業職に就き現在美容師・経営者になったりしている。多くの経営者が、たえず挑戦していき過去の経験を活かしていた。私は就活を意識する学年であるが、自分のする決断に対してこれでよいのか、と最近悩むことが多い。しかし、たとえ思うようにいかなくても、与えられた場所で一生懸命努力し、学ぶ姿勢を忘れてはならないと思った。そして、機会を見つければ、自分が志す方へ挑戦し、自らの経験を活用していきたい。何才になっても、学びに貪欲に、挑戦する心を忘れずに持っていたいと思った。

また、規模の大小、知名度の有無にかかわらず、優良な企業、面白い取り組みをする企業が多いことを知った。石坂産業の里山事業や人材教育、SAKURAのコンビニに特化した支援や連携大学での会計事務所設立などは、とても革新的だと思った。戦略的に市場を選択するbiidや丸和のような戦略も、賢い戦略である。大学の講義や教科書では大企業を取り上げることが多いが、企業の力量は規模の大きさに限られないのだと思った。視野を広く持っていたい。





第一に、たくさんの企業の経営者さまに講義していただく機会は貴重で、有意義な時間でした。私は将来こうなりたいという明確なビジョンがありませんでしたが、ゲストスピーカー様の話を聞くうちに、ただお金を稼ぐことではなく、人間性がいかに重要かを学ぶことができました。また、やはり経営者となると細かい現状分析も行いながら、大胆な経営(石坂産業社長の里山事業投資など)を行う方もいたため、大きな事業の裏には人一倍の努力が隠されているなと感じました。

グループワークではチームのメンバーが非常にフレンドリーで楽しく意見を言い合えたことはとても良かったです。もし自分がまた別のグループワークを行う機会があれば、あのような雰囲気づくりを目指したいと思いました。

これからの社会をどうしていきたいかをこんなにじっくり考える機会を頂けただけで、この講義を取ってたいへん良かったと思う。それぞれの分野の中でどうやって成功したか、社会に貢献していけるか、大学の授業では学ぶことの出来ない内容が自分にとって大変なものになるものであった。これから企業を選んでいく上で参考になったし、私も仕事を通して社会貢献していけるように頑張りたいと思う。

様々な企業の社長からお話を聞くことで今後のキャリアのみならず自分の生き方自体に変化を起こすと思いました。私は大手企業へ就職を考えていたのですが、将来への希望が高く、社会貢献度が高い中小企業に興味を持ちました。大学生活のみならず社会人生活にも役立てていきたいと考えています。

2021年夏季集中講義 実践ベンチャー論Ⅱ スケジュール

日程			
8月25日 		公益資本主義セミナー	オンデマンド・任意
8月28日 		浦和駅周辺まちづくり懇親会	オンデマンド・任意
8月30日	4限	ガイダンス(館・関口)	ガイダンス・グループ分け
  *ハイフレックス	5限		グループワーク(自己紹介・役割分担決め等)
9月01日	FW	湘南モノレール株式会社 (本社・鎌倉市)	インフラと未来グループセッション 湘南江の島駅見学
		biid株式会社 (本社・藤沢市江の島)	海洋体験(SUP) biidのブルーアイランド戦略・ディスカッション
9月06日	FW	アイネット株式会社 (第2DC・横浜市)	データセンター見学とディスカッション
9月08日	FW	石坂産業株式会社 (本社・工場 埼玉県三芳町)	工場見学とディスカッション
9月09日	FW	さいたま市行政訪問(浦和駅周辺)	浦和駅まちづくり視察・ディスカッション
9月15日 	4限	成果報告会	プレゼンテーション・講評・評価シート記入

上記日程の他、グループワークの時間を、グループごとに確保し、成果報告会に備えた。

フィールドワーク先②

2021年9月1日（水）

biid株式会社（湘南海洋スポーツ振興協会）

訪問先：biid株式会社（湘南海洋スポーツ振興協会）

マリナー再生事業・マリンスポーツ・飲食店等の経営。

東京オリンピック NZチームオフィシャルサポーター

場所：本社（神奈川県藤沢市江の島）

引率者：講師 関口暁子／埼玉大学経和会副会長 中莖雅彦様

内容 13：00～16：00予定（運営カフェでランチタイム）

○松尾社長または熊川執行役員 ご講話 ○質疑応答

○ヨットクラブ所有のマリンスポーツ体験

（2021年度はSUP、2020年度はサーフィン）

○記念撮影



松尾省三社長



熊川博執行役員



フィールドワーク先④

2021年9月8日（水）
石坂産業株式会社

訪問先：石坂産業株式会社

（第2ターム ゲストスピーカー：

石坂 典子 代表取締役

（地元企業）

場所：本社（埼玉県入間郡三芳町）

集合時間・場所：埼玉大学より車移動

引率者：客員教授 舘 逸志

内容： 14：00～16：00

○ご担当者 ご講話 ○本社・里山視察

○質疑応答 ○記念撮影





ベンチャーというと、最初はネットビジネスや、都会でのビジネスを想像しがちであったが、思った以上に地域密着型の企業が多いことに驚いた。

また、街づくりなどの一見企業が関係ないようなことにも、商店街の振興という形で地元企業がかかわっていたりと意外性を感じた。

大企業や行政など、大きな力を持つがネットワークが重い団体だけでは為せないようなことが、今後の社会では多く生まれてくると思う。そのような時に、今回見学したような中小企業や、地元密着型の企業が大きな役割を担うのだろうと感じた。

対面での何気ない会話が、アイデアに繋がる。オンライン上でも同じようにできるのが理想であり、今後の課題である。対話の大切さと楽しさを実感しました。FWに伺うことで、体験はとてよ学習であると感じた。この経験を今後、他の授業や自身の仕事において活かしていきたい。

舘先生、関口先生、訪問先の企業さま、FW、GWでご一緒した皆さまに感謝を。このような機会をいただきありがとうございました。

第2タームと今回の講義を通じて、ビジネスに対する考え方を学び得ることが出来た。今まで自分で事業のアイデアを考えていても、どこか地に足がついていない感じがしていたが、講義を活かして、事業計画を煮詰めていきたいと考えている。

今回は第二ターム、夏季集中講義と通してベンチャー論を受けてとても多くのことを学び、今後、就職活動し社会人として働いていく上での大切にすべき価値観が少し確立できたと思う。学びについては特に2点ある。

1点目は、目標の明確化だ。ビジネスを行う上で漠然と利益を上げたいとか社会に影響を与えたいではなく、どのターゲットの何の課題にどのような影響を与えたいのか、こういったマーケットや課題を明確化することで、より具体的で新規性のある事業が生まれるのだと、経営者の方々のお話を聞いて思った。

2点目は、多角的な視点を持つことだ。biidの不動産マリーナ事業やアイネットの池田会長など今回ベンチャー論に登壇して頂いたほとんどの経営者の方が多角的な視点を持つことで、ビジネスにおいて新しい切り口で価値を創造できるというお話をしていた。分野に捉われず、得た学びを抽象化し、他分野へ転用することがビジネスで大事であり、成功の秘訣であることがよく理解できた。

今後、自身の中でも、新聞を読んだり、異国を訪れたりなど様々な視点をもてるよう行動を起こしたいと思える学びだった。こうした学びを経て、自身の力で事業を立ち上げたり、変革を起こしたりすることの面白さや若いうちから飛躍的に成長できる企業、つまりベンチャー企業の魅力を感じることができ、就職の際にもそうしたベンチャー企業も視野に入れて、自分自身で道を切り開ける人材として活躍したい。

様々な人の働く様子を知ることができた。特に経営者の方は、自分の仕事に夢や誇りを持ちながら働いているのが伝わってきた。私も熱心に働ける環境を見つけたいと思う。

実践ベンチャー論のフィールドワークでは、自分の意見を伝えることや新たな着眼点に気づくことができた。ここで学んだ着眼点を活かし、問題解決に当たっていきたいと思う。

実際の企業の方のお話を聞いた後に、その足で企業内見学により、技術、施設管理、企業努力を間近で見ることができ、よりその企業のことを学ぶことができたと同時に、自分が働く将来図を想像することができました。また、学生の視点から企業に提案し議論することができたこともとても良い経験になりました。

パワポ作成に関して、もっとストーリー性や共通性を大切にしていきたいと思う。